

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年11月24日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分Ⅰ： 該当なし

区分Ⅱ： 該当なし

区分Ⅲ： 該当なし

その他： 4 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	1号機	試料採取系燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩装置入口導電率計(P33-CE019)において、当該導電率計の取付部から5分に1滴の水の漏えいが認められたため、当該導電率計を点検・修理。 なお、漏えいした水は汚染のないことを確認したことから拭き取りを行い、当該導電率計の下部に受けパンを設置。	GⅢ	11月22日
2	1・2号廃棄物処理設備	廃棄物処理設備計装用圧縮空気系空気圧縮機(B)冷却水空気抜き弁(P53-F1023B)において、弁シート部から水(非放射性)の漏えいが認められたため、当該弁を点検・修理。	GⅢ	11月18日
3	1・2号廃棄物処理設備	補助ボイラー(C)において、「RW制御盤 PLC故障」と「現場制御盤 PLC故障」の警報発生が認められたため、原因調査・対策検討。 なお、補助ボイラー(C)は手動にて停止操作を行った。	GⅢ	11月22日
4	3・4号廃棄物処理設備	高電導度廃液系加熱器(B)凝縮水導電率計(P33-CE507B)において、当該導電率計の取付部から凝縮水の漏えいが認められたため、当該導電率計の取付部を点検・修理。 なお、凝縮水の漏えいは止まっているが、導電率計の下部に受けパンを設置。	GⅢ	11月21日